



Fukushima Chuo

◆ 福島中央ロータリークラブ ◆
since 1990**2026年2月25日(水)**

第26回(通算1653回) エフズサンパレス

「新会員スピーチ
安藤 智美会員/古谷 一位会員」**会長あいさつ**

2025-26年度会長 鈴木 努



こんにちは。先週の合同例会は、出席された会員の皆さんにとって、有意義な会合になりましたでしょうか。おかげさまで、私自身も時間を忘れるほど楽しいひとときを過ごすことができたと感じております。今月、来月と行事が目白押しですので、日時をお間違えのないよう、ご対応をよろしくお願いいたします。

今週の例会は、安藤智美会員、古谷一位会員による「新会員スピーチ」がメインとなっております。お仕事、日常生活、そして趣味などについてお話しいただき、会員同士の相互の絆がより深まることを願っております。

次に、長浜東ロータリークラブの周年行事についてです。内容についてはメールで配信されておりますが、参加される会員の皆様の行程については、現在、理事会等で検討を進めているところです。現時点で決まっているのは、会場と同じホテルを15室確保しているということです。料金は一泊朝食付きで14,300円、それに加えて交通費と登録料1万円が必要となります。全体の締め切りは3月16日となっておりますが、当クラブ内では、準備の都合上、本日と次回の例会までを締め切りとさせていただきたいのですが、ご協力いただけますでしょうか。現在確保している15部屋に対し、すでに15名ほどの申し込みがあり、追加が必要な場合は早急に手配しなければならないという事情がございます。参加人数が確定次第、改めて詳細をご連絡いたします。

なお、当日は地区行事の「地区研修・協議会」も重なっております。地区行事に参加される次年度の委員長(大委員長)の皆様については、丹野会長エレクトにお願いしております。どちらも大切な行事ですので、福島中央ロータリークラブらしい機動力で頑張りましょう。

最後に、理事会でも提案させていただきましたが、皆様ともご相談させていただきたい項目がございます。今期中に結論を出すとは限りませんので、次年度以降も含めて継続的に議論していただきたい内容です。それは「昼の例会のあり方」についてです。現状、昼の例会は途中で食事の時間が入るため、非常にタイトなスケジュールとなっております。お話を途中で打ち切らざるを得ないなど、失礼な状況が起きているのではないかと危惧しております。12時30分から1時30分までの1時間を、より有効に活用できる内容を検討していただければと考えております。

ありがたいことに最近では出席率も上がり、参加される会員数も増えてまいりました。会員相互の連携や親睦、そして各役割の連絡などの時間をより充実させることができれば、クラブ活動がまた一歩進化するかもしれません。ぜひ前向きなご検討をお願いいたします。

今日もエンジョイ・ロータリーしましょう！

以上です。



福島中央ロータリークラブ会報

事務局 〒960-8051 福島市曾根田町4-22

TEL:024-526-7211 FAX:024-526-7212

E-mail:info@fukushimachuo-rc.com



HP

例会次第

- ◆開会点鐘 鈴木 努会長
- ◆ロータリーソング「日も風も星も」
ソングリーダー 亀岡 政雄会員
- ◆会長あいさつ 鈴木 努会長
- ◆ロータリー用語の解説
山田 稔クラブ研修委員長
- ◆お食事をどうぞ
- ◆幹事報告 菅野 幸一幹事
- ◆各委員会報告
 - ・ニコニコBOX委員会報告
ニコニコBOX委員会 川瀬 哲雄委員長
 - ・R財団・米山委員会より
R財団・米山委員会 渡邊 英世委員長
- ◆新会員スピーチ
 - ・古谷 一位会員
 - ・安藤 智美会員
- ◆閉会点鐘 鈴木 努会長



本日の出席率

会員数	43名
出席者総数	29名

出席率 67.4%

新会員スピーチ



古谷 一位新会員

令和8年1月に入会をいたしました古谷一位と申します。出身地は栃木県大田原市です。地域の著名人には、お笑い芸人『U字工事』や、真中満東京ヤクルトスワローズ元監督がおります。

大学を卒業後、医療機関や保険会社で勤務し長年経理を担当してまいりました。今の仕事をはじめのきっかけは、転職をしてすぐ税務調査に立ち会うことになったことです。これまで税務には携わったことがなかったため慌てて本屋に駆け込んだのを記憶しています。その時の調査の内容はまったく記憶に残っておりませんが、確定申告書の仕組みの面白さにとっても感動したのを覚えております。



家族は4人暮らしです。子どもの通う学校では現在インフルエンザが猛威を振っており、学級閉鎖が続出しているとのこと。趣味はランニングです。先日22日には「いわきサンシャインマラソン」に出場してまいりました。

事務所は昨年6月2日に法人として設立いたしました。税理士法においては、1人税理士の法人設立が認められておらず、最低2人以上必要とされております。このため、当事務所におきましても2人の税理士で運営しております。



税法は法律の中でもとくに読みにくい構造になっている、とよく言われております。何度読み直してもイメージがつかみづらく、およそ3回の読み込みを通じて混乱に至る、と言われているのを噂で聞いたことがあるほどです。

その税法における最近の動向では、令和8年度税制改正の行方が注目されるところです。今年は選挙の影響で国会の召集が通常より遅れたこともあり、年度内の予算成立が見通せない状況であります。

改正案の内容としましては、令和8年度税制改正大綱で公表されました基礎控除の見直しが注目されます。令和7年度も大きく引き上げられたことで大きな話題となりました。基礎控除は、最低限度の生活を保障するために課税の対象から除外されている、と一般的に説明されているところですが、永年その金額が据え置かれてきました。しかし、最近の賃金の引上げ・物価上昇等を踏まえ見直しへの機運が高まっている状況であります。昨年に引き続き引き上げになるか関心が寄せられているところです。

他には、消費税の減税も注目されています。報道等により細かな点に違いはあるようですが、食料品を中心に減税となるかは皆さまにとっても大きな関心事であると思われます。

税制改正は毎年実施されており年々複雑化しております。税制の内容を正確に把握するのは大変な作業ではありますが、これをチャンスと捉え皆さまのお役に立てるよう頑張っております。

幹事報告

菅野 幸一幹事



- 1) 本日例会終了後にこちらの会場で次年度理事会を開催いたします。次年度理事役員は引き続きご出席をお願いいたします。
- 2) 2026-27年度ロータリー手帳の予約〆切が本日までとなっております。ご希望の方は事務局までお申し込みください。
- 3) 今週末2月28日(土)は、ウェディング エルティにて、県北第一分区分ルネサンスDayが開催されます。登録開始は10:00～次世代リーダーセミナー、13:00～インターシティミーティング、17:00～会員交流会の予定です。ご出席の方はお間違いのないようよろしくお願い申し上げます。
- 4) 次回の例会は、3月4日(水)の12:30～エフズサンパレスにて開催です。鈴木 和夫会員よりスピーチをいただきます。ぜひご出席ください。



安藤 智美新会員

まず始めに、私が働いております日東産業株式会社とそのグループに関しましてのご紹介をさせていただきます。

スピーチの経験はほとんどありませんので、お聞き苦しい点もあるかと思いますが最後までお付き合いいただけますと幸いです。

日東産業ホールディングスグループは、日東産業ホールディングス株式会社を頂点に、日東産業株式会社・ニットー商事株式会社・日東シフト株式会社・株式会社スクラッチシステムマネージメントの4社の子会社があります。

日東産業株式会社には、日東環境整備株式会社・新日東株式会社・有限会社東邦清掃社・有限会社福陽コンサルタントの4社が子会社になっております。

私が代表を兼務させていただいております有限会社東邦清掃社には、エルシーモード有限会社という会社が子会社になっています。



続きまして、グループ各社の紹介をさせていただきます。

グループの中核会社でもある日東産業株式会社です。

主な事業内容としましては廃棄物処理業です。写真にあるような通称「パッカー車」と呼ばれる車両を使いまして、主に事務所や店舗などから出る事業系一般廃棄物(いわゆるゴミ)を収集・運搬し福島市のクリーンセンターに持ち込むという仕事です。

また、工場生産などの事業活動に伴い排出された産業廃棄物を収集・運搬し、民間企業が運営している処分場に持ち込む仕事です。

余談ですが、例えば工場などにおいて事務室などから出るシュレッダーくずなどは事業系一般廃棄物であり、製品を製造する過程において排出される材料くずなどは産業廃棄物になります。

また、食品工場から出る食品くずは産業廃棄物ですが、飲食店から出る食べ残しなどは事業系一般廃棄物となり、それぞれに扱いが変わります。

次の事業は、同じく廃棄物処理ですが、扱うものはいわゆるトイレに排泄されたものや、浄化槽の中にたまってしまった不要な堆積物を収集・運搬し福島市衛生処理場に持ち込む仕事です。写真にありますような通称「バキューム車」と呼ばれる車両を使用します。

当社のバキューム車の特徴は、タンク部分を架装と呼ばれるアルミパネルやFRPパネルで覆い隠しバキューム車には見えないような外装になっております。グループの代表の、社員が一般の方々から嫌悪の目で見られることがないようにとの思いやりから採用しております。

次の事業はメンテナンス業で、浄化槽の保守点検や福島市内及び桑折町における下水道管の維持管理業務です。

下水道管の維持管理業務におきましては、管が詰まったとか異臭が発生しているといった緊急の時は、24時間365日対応しなければならないというのが大変なところでもあります。

次は建設工事業で、主には下水道管や用水路などの配管の中に新たに配管を作るという管渠更生工事と、工事に伴う管内の調査業務になります。

写真にありますようなロボットを使って管内のカメラ調査を行ったり、時には管内の突起物を削ったりといったことも行っています。

福島県外での仕事も多く、実は現在担当の社員は九州熊本に長期出張しております。

- 3 建設工事業→管渠管内調査
管渠更生工事



次にご紹介するのは建物清掃業です。清掃業と言われていますが建物内を掃除するわけではなく、福島県立医科大学附属病院の院内各所にあるゴミ箱等から、専用のカートを使って回収し廃棄物置場まで運ぶという仕事です。あの広い建物内は手分けして一日中廻って回収をしています。

正社員が3名、平均年齢65歳以上のパート社員さん16名、合計19名が現地に常駐し頑張ってくれています。

- 4 建物清掃→福島県立医科大学附属院内におけるごみの院内回収業務



続いては日東環境整備株式会社です。

こちらも廃棄物処理業を行っており、主には産業廃棄物(汚泥)の収集・運搬業務と、産業廃棄物(汚泥)の中間処理施設運営管理を行っています。

産業廃棄物(汚泥)発生場所の代表的なものは飲食店や食品加工工場などに設置が義務付けられている油水分離槽(通称:グリストラップ)があります。ちなみに、当会場であるエフズサンパレス様の関連施設「フーズワークスサンパレス」さまのお仕事もやらせていただいております。

写真にありますような産業廃棄物を専門に扱う吸引車(通称:ダンパー車)や高圧洗浄車を使用して作業を行います。

大型の吸引車は、例えば学校給食センターといった大きな施設にある大きな設備について作業を行うときに使用します。

- 1 廃棄物処理業→主に産業廃棄物(汚泥)の収集運搬および、産業廃棄物(汚泥)の中間処理施設運営



※飲食店のグリストラップ清掃などを得意としております。

続いては日東シフト株式会社です。

こちらも廃棄物処理業ですが、主には家庭内にある不要品の片付けや、時にはゴミ屋敷の片付け、それと遺品整理などの仕事をしております。

大量消費社会である現代、また浪費の時代でもある現代では不要品も多く、また病気や障害から片付けることが苦手でゴミ屋敷になってしまったご家庭なども多いため、片付けの需要も増えてきています。

遺品整理などでは孤独死された方のご遺族が遠方に住んでおり、対応が難しいからとの理由から依頼されるというケースも多々あります。

- 1 廃棄物処理業→家の片付けやゴミ屋敷の片付け、遺品整理等
産業廃棄物の臨時収集運搬



その他の会社で、ニットー商事株式会社はリース業で、主にグループ企業が使用する各種車両のリースを行っています。

株式会社スクラッチシステムマネージメントは、札幌に会社がありコンピューターのシステム開発やプログラム開発などを行っています。

新日東株式会社は、先程の話の中にもありました管内調査や管渠更生工事を行っている会社で、韓国はソウル市に事務所を構えております。

ちなみに、この管渠更生工事とはイギリスが発祥で、現在では世界各地で行われている仕事でもあります。

有限会社東邦清掃社はトイレの汲み取りや浄化槽清掃といった仕事をしており、エルシーモード有限会社は浄化槽保守点検の仕事をしている会社です。いずれの会社もM&Aで取得し子会社化した会社です。

有限会社福陽コンサルタントは測量・設計を行う会社で、かねており交流のあった先代社長の逝去に伴い承継した会社になります。

以上が、日東産業ホールディングスグループの会社紹介でした。

次に、私が今の会社に入社させていただいた2009年(平成21年)以降で印象に残った出来事の話をしていただきます。

2011年に発生しました3.11東日本大震災です。

2011年の東日本大震災

震災直後の3月13日より福島市内各所に、官民合わせて約70箇所程の仮設トイレが設置され、その回収依頼が入る。燃料の入手が困難な状況で同業他社が動けない中、社員が手分けして燃料を確保し作業を行う。自らも被災したり、原発事故で家族が避難したりといった中で、社員各自が使命感をもって業務に取り組んでいたことが強く印象に残っております。



発災2日後の3月13日より福島市内各所に、合計で約70箇所の仮設トイレが設置され、その中身の回収依頼が入ってきました。

皆さんも記憶にあるかと思いますが、当時は大変な燃料不足で、同業他社がみな動けない中で、社員が手分けして方々を走り回り燃料を確保しながら作業にあたりました。

自らも被災をしていたり、原発事故により家族が県外に避難したりといった状況にもかかわらず、それぞれが使命感をもって取り組んでいたことが強く印象に残りました。

次は、新型コロナウイルス感染拡大です。

2019年に横浜港に寄港した豪華クルーズ船内で集団感染が発生したことをご記憶の方も多いかと思います。感染した患者さんのうち、2名の方が実は福島県立医科大学附属病院に入院されたことはあまり知られておりませんでした。

病院関係者より患者さんが入院している病室から出る廃棄物の回収と運搬の作業をお願いしたいとの相談がありました。出来ない時は断っていただいても大丈夫とも言っていたのですが、何十年とお取引をさせていただいている関係もあるし、当時はまだ情報不足で、感染イコール死との認識でしたので、果たしてそのような作業を社員に行わせて良いのかと非常に悩みました。

現在のグループの代表で、当時の社長に相談したところ「お金はいくらかかっても良いから、考え得るすべての感染対策を行った上で仕事をお引き受けしてはどうか」との話をいただき、また社員も作業を行うと言ってくれたこともあり引受ける事といたしました。

良い経営者と良い社員に恵まれたなとしみじみ感じたときでした。



2009年に入社後印象に残った出来事

新型コロナウイルス感染拡大

2019年、豪華クルーズ船内で新型コロナウイルスの集団感染が発生した際、福島県立医科大学附属病院でも感染患者の受け入れがありました。患者さんが入院する病室から出る廃棄物の回収業務依頼が入りました。情報が入り次第、その業務を請けて良いものが非常に悩みましたが、当時の社長より「お金はいくらかかっても良いので、思いっきり限りの感染対策を行った上で業務を請けてはどうか。」との話をいただきましたこと。また、担当する社員が快く引き受けしてくれたことに救われたことを思い出します。

良い経営者と、良い社員に恵まれたと心から感じたときでもありました。



次は、2024年に発生しました能登半島地震です。

弊社も会員になっております全国組織である「全国環境整備事業協同組合連合会」からの要請で、被災地にある稼働を停止した浄化センターから、他の市町村の稼働している浄化センターまで汚泥を移送するという業務支援を行いました。

同年1月19日より、車両1台、社員2名を派遣。現地の状況がほとんど分からない状況で社員を向かわせて良いものが大変悩みましたが、この時も複数の社員から「行きます！」と言ってくれたことが、大変うれしく又、頼もしく感じました。無事に帰社してくれた時は心から安心したことが思い出されます。

現地に行った社員から、家族の反対を押し切って現地に向かったとの話を後から聞いて胸が痛くなったことを覚えています。

余談ですが、当時、石川県に大雪警報が出て早目に作業を切り上げ帰社することを指示し、会津若松市内のホテルを予約したのですが、富山県のあたりから大雪に巻き込まれてし

まい会津に着いたのが深夜1時だったというエピソードもありました。



2009年に入社後印象に残った出来事

能登半島地震

清掃関連会社の全国組織である「全国環境整備事業協同組合連合会」より要請があり、被災地にある稼働を停止した浄化センターから、他の稼働している浄化センターへ汚泥等を運搬する業務支援を行いました。

1月19日より車両1台作業員2名を派遣。現地の状況が詳しく分からない中、社員を現地に行かせることに対して非常に悩みましたが、この際も複数の社員から現地に行くの申し入れがあり、大変うれしく思いました。社員が無事に帰社したときは心から安心したことが思い出されます。

後に、派遣した社員から、奥様から行かないでほしいと連絡されながらも、それを振り切って向かったとの話を聞いて胸が痛くなりました。



次に印象に残った出来事は、昨年1月28日、埼玉県八潮市でおきました道路陥没事故です。弊社も下水道に関連する業務を行っている関係から会員になっております「公益社団法人日本下水道管路管理業協会」より、大型の吸引車を保有している全国の会員向けに要請がありました。

内容としましては、事故現場となった下水道の上流部分にあるマンホールから排水を汲み上げ、近くにある浄水場までピストン輸送するというものでした。

事故があった下水道管の直径は5メートルであったということですが、福島市内にもこれほど大きな管ではないですが老朽化した下水管は存在しますし、決して他人ごとではないという思いからお手伝いをさせていただきました。



2009年に入社後印象に残った出来事

埼玉県八潮市道路陥没事故

昨年の1月28日、埼玉県八潮市でおきた道路陥没事故に伴い、日産産業株式会社会員となっている「公益社団法人日本下水道管路管理業協会」から、大型吸引車を有する全国の会員に向けて要請がありました。作業内容は報道等でもありましたが、事故現場となった下水道の上流マンホールから排水を汲み上げ、近くにある下水道浄化センターまでピストン輸送するというものでした。下水道に関連する仕事をさせていただいている会社ということもあり、何か少しでもお手伝いできることはないかとの思いから作業協力をさせていただきました。



いずれの出来事も、作業を行ってくれた社員がいたからこそできたことであり、このスピーチを通して改めて社員に対しての感謝の気持ちを持つことができました。ありがとうございました。





ロータリー用語の解説

クラブ内研修用スピーチ(第19回)

山田 稔クラブ研修委員長

本日は「RLI(ロータリー・リーダーシップ・インスティテュート)」における、ある「名称の変更」についてお話したいと思います。

これまで、RLIのグループ討議で進行役を務める方は「ディスカッション・リーダー」と呼ばれてきました。しかし、国際ロータリー(RI)からの指示により、今後は「ファシリテーター」という名称に統一されることになりました。

「名前が変わっただけでしょ?」と思われるかもしれませんが、実はここには、これからのロータリーが目指す「学び(ラーニング)」の深い意味が込められています。

【なぜファシリテーターなのか】

「リーダー」という言葉には、どうしても「前を走る人」「正解を知っていて、皆を導く人」というニュアンスが含まれます。しかし、RLIが大切にしているのは、誰かが教壇に立って教える「教育」ではなく、参加者が自ら気づく「学習(ラーニング)」です。

「ファシリテーター」の語源は、ラテン語の「ファシリス(facilis)」つまり「容易にする、簡単にする」という意味からきています。

つまり、進行役の仕事は「議論をリードする」ことではなく、参加者の皆さんが:

- ・ 発言しやすくすること
- ・ お互いの経験から気づきを得やすくすること



・そして、学びの場を「居心地よく、スムーズにする」こと
これに徹する、いわば「黒子(くろこ)」の役割に徹しようという宣言なのです。

【これからのクラブ運営へのヒント】

私たちロータリアンは、それぞれが自分の仕事や人生で豊かな経験を持っています。誰かに一方的に教えられるよりも、仲間の経験談を聞いて「あ、自分のクラブでもこう活かせるな」と気づくことの方が、何倍も価値があります。今回の名称変更は、ロータリーが「教え込まれる組織」から「お互いの知恵を引き出し合う組織」へと、より進化していく姿勢の表れだと言えます。

私たちの例会や理事会も同じではないでしょうか。誰か一人が引っ張るのではなく、全員の知恵を「ファシリテート(引き出し)」し、より良い奉仕につなげていく。そんな活気あるクラブ作りに、この「ファシリテーター」という考え方を活かしていければ幸いです。

■鈴木 努会長

約70%の出席率ありがとうございます。
またお願いします。

■穴戸 宏行会員

安藤、古谷会員のスピーチ楽しみにしております。

浅野 紘太会員
安藤 智美会員
安藤 正道会員
石橋 真一会員
植木 博隆会員
梅津 寿光会員
亀岡 政雄会員
川瀬 哲雄会員
菅野 幸一幹事
小林 潤子会員

紺野 信会員
齋藤 高紀会員
齋藤 達也会員
坂本 和司会員
佐藤 和子会員
佐藤 元彦会員
穴戸 宏行会員
菅谷 敏会員
鈴木 和夫会員
鈴木 努会長

丹野 良一会員
芳賀 裕PG
平井 義郎PG
古谷 一位会員
桃井 三夫会員
筋内 一典会員
山田 稔会員
渡部九二五郎会員
渡邊 英世会員

ニコニコBOX委員会報告

川瀬 哲雄委員長



目標 150万円

本日の投入額 29件 38,000円

累計 928,682円